

「都市づくりのグランドデザイン(素案)」における 意見・アイデアの募集結果について <第5章2 戦略3>

※意見・アイデアに記載されているページ番号は素案のものです。

番号	意見・アイデア
1	<p>P75 等 低所得者の住居確保について</p> <p>全体を通し、様々な世代や家族形態の居住は想定されているものの、多様な所得階層の居住に対する配慮が少ないように見受けられます。</p>
2	<p>P75 木造密集地域の解消イメージについて</p> <p>個人の印象としては、当該パースは過剰であり、本計画の文言からしてミスリーディングではないかと考えます。狭い幅員や低層のスケール感、人間味、境界の曖昧な中間領域、家屋からの表出などといった「路地の風情や木造の良さ」を構成する要素が欠如しており、木造密集地域の価値について真剣に再検討頂けることを強く期待します。</p> <p>「東京ならではの街並み」という表現とは程遠いパースであるという印象です。</p>
3	<p>「路地の風情や木造の良さを残すまちづくり」という文言と図で示したイメージに大きな隔たりがあるのではないかと。示された図には路地の風情はない。</p>
4	<p>P75 等 木造密集地域におけるジェントリフィケーションの弊害について</p> <p>東京における木造密集地域は、防災上の課題を抱える地域である一方で、都心近くに廉価な住宅や密なコミュニティを提供してきた地域でもあります。当該地域は、学生やクリエイター、低所得者などの居住の場となるとともに、中央線沿線の漫画・アニメ産業に見られるようなインキュベーションの場でもあり、今後の東京の競争力を生み出すイノベーションの源泉ともなり得ます。</p> <p>防災上の理由により木造密集地域を更新する場合、都心近辺において、学生等を含む低所得者層の居住をどう確保するのか、また、廉価かつ自由に改変可能な小規模建築物で発生するクリエイティブな活動をどう担保するのか(P99 の施策とどう両立させるか)といった観点を提案したく思います。</p>
5	<p>災害に強い都市をつくる</p> <p>都市再生安全確保計画を活用していることを記載いただきたい。</p>

番号	意見・アイデア
6	<p>様々な被害を想定し、災害に強い都市をつくる (P75 政策方針 - 11)</p> <p>本グランドデザインにおいては、木密地域の防災性を課題に掲げておりますが、当エリアにおいても、築年数が50年を超える建物が多く老朽化が進んでおり、防災面の課題が非常に大きくなっております。首都直下型地震の発生が懸念される中、防災性を高めるために、まちの機能更新を早期に進めることが求められます。</p> <p>都市再生特区の運用の中で、防災性に寄与する取り組みについては積極的な評価をお願いするとともに、市街地再開発事業による機能更新においては、都市再開発法の運用の中で、認可手続き等の柔軟な運用をお願い致します。これにより、防災性を高める機能更新の早期実現が期待されます。</p>
7	<p>「魅力的な移転先の確保によりコミュニティが持続している」の項目が、災害に強い都市づくりに関する見出しの言葉としては、少し唐突に感じられました。補足説明があるとよいのではないかと思います。</p>
8	<p>P. 79 様々な工夫により身近な地域の無電柱化が大幅に進んでいる</p> <p>無電柱化のさらなる促進のため、以下2点の追記を要望します。</p> <p>①狭隘な道路においても無電柱化を促進するため、軒下配線等の道路区域外の活用に着目した新制度の検討を進めます。</p> <p>②地上機器の設置を促進するため、地上機器へのラッピングやデジタルサイネージ等を展開可能とする新制度の検討を進めます。</p> <p>理由</p> <p>①現在、無電柱化を進める上で対応が困難となっている「歩車道区分の無い狭隘な道路等」において、2040年代に向けてさらに無電柱化を推進していくためには、民有地への地上機器配置や裏配線、軒下配線等、道路区域外を活用する手法を展開させる必要があると考えております。東京都としてさらに無電柱化を進めていくためにも、上記手法を積極的に展開しうる新制度の制定について、追記されることを要望します。</p> <p>②地上機器の設置について、地域の皆さまからのご理解が得られなければ、無電柱化事業を進めることはできません。今後、さらに無電柱化事業を進めていくためには、地域の皆さまからのご理解を効率的に得る必要があります。その方策の一つとして、地上機器へ付加価値（ラッピング広告、デジタルサイネージ）をつけることも実施を検討していくべきと考えます。以上より、地上機器を活用した地域貢献方策が展開可能な新制度の制定について、追記されることを要望します。</p>

番号	意見・アイデア
9	<p>無電柱化の推進については、その意義に賛同し、今後も協力してまいります。他方、無電柱化の低コスト手法の1つとして考えられている浅層埋設の推進にあたっては、保安確保の観点から、関係する企業等への影響なども考慮し、計画的に進めていただくよう要望いたします。</p>
10	<p>P. 80 平時から復興を意識して都市づくりを進めている</p> <p>「防火水槽や消火栓の整備に加え、雨水の利用など」の記載を、「防火水槽や消火栓の整備に加え、水蓄熱槽の設置、雨水の利用など、」に修正いただきたい。</p> <p>蓄熱式空調システムで導入される水蓄熱槽は火災時の消防用水としても活用でき、非常災害時の生活用水としても活用できます。水蓄熱槽の普及促進が東京都の災害対応のさらなる強靱化につながりますので、上記のとおり、修正されることを要望します。</p> <p>また、蓄熱式空調システムは、平時においては、省エネ性、環境性にも優れた高効率空調システムとして機能することから、平時、非常災害時ともに重要な役割を担えるという特徴がありますので、東京都として積極的に普及することも検討されるべきと考えます。</p>
11	<p>政策方針-13 様々な拠点で災害時でも都市活動が続いている</p> <p>平面的なエネルギー相互融通の記述はありますが、各戸のレジリエンス対応も記述すべきと考えます。</p> <p>文案：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時でも必要最小限の電源が得られるよう、各家庭に対し停電時でも発電継続可能な家庭用燃料電池等の設置を促進します。 ・高度な防災都市づくりを進め、東京の防災対応力を強化し、都民生活の安全性の向上を図るため、必要最小限の電源を確保し、都民が自宅での生活継続を可能とするLCP住宅の普及を推進します。
12	<p>政策方針-13・取組-1：様々な拠点で災害時でも都市活動が続いている</p> <p>当該政策目標において、帰宅困難者対策に関する取組みに言及されておりますが、新規の開発を想定された内容に読めます。新規開発だけでは受入可能な空間の量に限界があるため、既存ビルにおける取組の支援についても言及が必要と考えます。</p>

番号	意見・アイデア
13	<p>政策方針-13 災害時にも都市活動と都民の生活を継続し速やかな復興につなげる</p> <p>40 に例示されている「都市のイメージの一端」は住宅市街地についてのみであるが、首都直下地震等の災害リスクに強い都心像に関しても記載が望まれます。</p> <p>取組一1 記載の「都市復興のモデルとなる防災拠点などの整備を誘導」の意味合いが分かりづらいと考えます。</p> <p>大丸有地区ではBCD実現のために重要となる「エリア防災ビル」という考え方を定義しています。これは地区内の複数の「エリア防災ビル」で特別な防災機能を必要に応じて分担し、周辺のビルとの連携や支援によりエリア全体の面的な防災性・事業継続を高めるという考え方です。これらの整備・運営を積極的に評価頂くことにより対策の具現化を推進する施策をお願いします。</p> <p>取組一1の項目「様々な拠点で災害時でも都市活動が続いている」に記載があるように、都心部においては災害に強い都市づくりが重要になります。東京駅、新宿駅、渋谷駅等の主要ターミナル駅周辺地域では、都市再生安全確保計画が策定され、安全確保計画の早期実現が喫緊の課題になっています。民間のビル開発による安全確保計画を自主的に実現させるため、都市再生特区の運用等においても、安全確保計画の実現を図る取組みを積極的に評価するようお願いいたします（なお、安全確保計画は都市再生緊急整備地域において策定されるため、同地域において適用されている都市再生特別地区との運用の連携が図りやすいと考えます。）。</p>
14	<p>建築物の築年数について情報収集・データ整備を検討した方がよいのではないかと。</p>
15	<p>P82 都市づくりに必要な情報の一元化</p> <p>既にご存知かと思いますが、シンガポールにおける取り組み（Virtual Singapore）があります。</p>
16	<p>諸外国において、都市計画分野の情報収集にドローンを活用しているところもあると聞いている。都でもドローンの活用について情報収集し検討して欲しい。</p>

番号	意見・アイデア
17	<p>誰もがいきいきと交流・活躍できる (P11)</p> <p>インフラの大規模更新と都市再生を一体的に進める (P84 政策方針 - 14 取組 - 2)</p> <p>当エリアは商店街活動や町会活動が活発であり、山王祭のような伝統的なお祭りから現代的なイベントまで多くの交流機会があります。また、江戸時代から続く町人・商人の町であり、人・モノ・情報が集まる多様性のある街だったことに起因し、様々な人を受け止める懐の広い街でもあると考えます。そのため、若者・ファミリー・高齢者・障害のある人・外国人など多様な人々が交流・活躍しやすい街という素地を持っています。</p> <p>オリンピックに向けた交通インフラの再整備に合わせ、バリアフリー化や多言語対応、サイン計画の見直し、街の案内情報や交通情報の発信等、あらゆる人が快適に過ごせる街の実現をお願いします。</p>
18	<p>政策方針-14 都市インフラを将来も健全に使い続ける</p> <p>取組一2「インフラの大規模更新と都市再生を一体的に進める」事例として、丸の内地区の開発において、常時・災害時の熱供給と、災害時の帰宅困難者一時滞在施設への電力供給が実施される予定です。この取組も記載頂くとともに、今後もエネルギーの面的利用の取り組みについてご支援をお願いします。</p> <p>これらの整備にあたって道路下等の公共空間の活用を図る旨の記載を検討願います。</p>
19	<p>P. 85 エネルギーの面的利用が地区単位で進んでいる</p> <p>①「自立分散型の発電施設の立地を促進するとともに」を「自立分散型の発電設備の立地や蓄電池の普及を促進するとともに」に、修正いただきたい。</p> <p>②「再生可能エネルギー」を「未利用熱をはじめとする再生可能エネルギー」に修正いただきたい。</p> <p>理由</p> <p>①太陽光発電や風力発電などの出力が不安定な再生可能エネルギーを自立分散型発電設備として導入する場合は、電力の効率的な活用と電力系統の安定性確保の観点からも、蓄電池を設置する必要があると考えます。</p> <p>②エネルギーの面的利用を進めることにより、河川水熱等の再生可能エネルギーも地域熱供給施設等で活用し易くなるメリットがあります。建物屋上に太陽光発電を設置して建物内で自家消費をするイメージではなく、面的利用ならではのより効果的な再生可能エネルギーの利用イメージを東京都として具体的に示すために、上記のとおり、「未利用熱をはじめとする」を補記すべきと考えます。</p>
20	<p>政策方針 15 都市全体でエネルギー負荷を減らす</p> <p>取組一1の項目「エネルギーの面的利用が地区単位で進んでいる」の記載内容に「・・・により、環境負荷低減と活力・にぎわいの創出を両立できる開発を促進」とありますが、意味合いが分かりづらいと考えます。</p>

番号	意見・アイデア
21	<p>政策方針－15、取組－1、環境に優しい建物が普及している 住宅主体の開発についても環境対策を推進すべきと考えます。</p> <p>文案： 住宅主体の開発では、太陽光発電や太陽熱利用設備等の再生可能エネルギーの利用、家庭用燃料電池、及び高効率給湯器等の導入を促進し、地球環境に優しいまちづくりを推進します。</p>
22	<p>テーマ：環境に優しい資源の有効活用 東京コンベンションタワー「仮名」 太陽エネルギーと海水を活用した揚水式発電所兼複合タワー</p> <p>簡単な説明： 全体構造、タワーの上部に海水を上げ、中央部は多目的に利用して、下部に発電装置を設置する。</p> <p>仕組み： タワーに太陽光パネルを設置、太陽光発電の揚水モーターでタワー上部の貯水タンクに揚水して、落差の水圧を利用し、更に、変換歯車を使用して、効率を加増し数台の発電タービンポンプを可動させる。</p> <p>設置有効地域： 中央区、江東区など</p> <p>このタワーの利点： A. ダムとの相違点は、海水は豊富にあり。安定して、容易に利用ができ、水は、再度、多目的に再利用できる。 B. 海辺は比較的障害物が少ないので、太陽光パネルの設置に効率的。 C. 交通アクセスもよく多目的利用にも好条件。</p>
23	<p>政策方針－15、取組－2 水素エネルギーの普及・拡大として、家庭用の分野における具体的な記述も必要と考えます。</p> <p>文案： 住宅地では、水素エネルギーの利用拡大を図るため家庭用燃料電池や燃料電池自動車の普及拡大を推進します。</p>

(都立高校生意見)

番号	意見・アイデア
1	災害の問題は、東京・日本が向き合っていないといけないので、重点的にまちづくりを考えていくべきだと思う。
2	エネルギー開発。
3	都市直下型地震のことを考えると、優先すべきなのかなと思った。
4	水素エネルギーを活用することは重要だと思う。
5	災害対策とノーマライゼーションをいかに両立させていくか。
6	奥多摩での地熱・風力発電が活性化されるならば都内での循環が可能となり、とても良いと思う。
7	新たな都市を構築していく間におこる災害・環境問題にも目を向けた開発を行ってほしい。
8	一番計画として、何を要する物だと思う。なお、災害における自然災害だけでなく、人災への対策は？
9	「災害」のことを考えるのは基本なのでとても大切だと思う。
10	災害リスクを考えて立ち回るのは重要だと思う。
11	総じて東京らしさがないけれど、技術を活用していいと思う。
12	「良い都市（建物）を長く保つ」のにかかせない要素だと感じる。
13	まずは開発をできる基盤を作ることが必要。

番号	意見・アイデア
14	災害対策はとても重要だと思う。ただ島しょ部に発電所を作るときの環境への配慮も大切だと思う。
15	地熱発電等が本格的に行われるようになるのはとても魅力的だと思う。
16	日本は地震が多かったりするので、それに対応した町づくりはとても良い。
17	水素エネルギーなどの最先端の環境というのは温暖化の進行を少しでも止められるのではないかと思いました。遠隔医療は、人がやらないために少し不安です。
18	無電柱化により、道を広くして災害時に逃げやすくするのはとても重要だと思う。
19	建造物が多く、企業が多い東京では、災害が起きた場合、人口的にも、商売的にもダメージが大きいので、災害に備えることはとても重要だと思う。
20	今、現在海外では無電柱化されてきているときいたことがある。景色も広くみえてとてもいいと思うが経済面で不安。
21	無電柱化は、青空が広がるだけでなく、災害時に倒れる危険性があるものを少なくできる点でも良いと思うが、それを全国にとなると、やはり「金銭面」が気になってしまう。
22	「もしも」のときのために備えるのに。
23	環境に配慮する点はよいと思いました。バスだけでなく、自動車も環境にやさしくなってほしいです。
24	地震などの対策をすると、安心して暮らせたり、被害にあってもすぐ立て直せると思う。
25	首都圏直下型地震や環境問題はできるだけ早く対応していかないといけないと思うので、1番重要だと思います。
26	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な町なみは住民の安全を守れるの良いです。 ・地球温暖化防止につながって地球に優しい。
27	発達した技術を使って、町の安全性が高まるのはいいと思う。

番号	意見・アイデア
28	水素エネルギーの活用は水素ステーションなどの水素の供給の点で課題があると思った。
29	地球温暖化が問題となっている中で燃料電池を導入するのはとてもいいと思う。
30	無電柱化は、電気の復旧が遅いのでは？→説明から共有へ。 安全は安心につながると思う！
31	首都圏直下型地震がおそれられている今、倒れない建物を創っていくのは良いと思います。
32	「東京ならではの」の魅力が感じられるまちは、外国人も観光できるからよいと思う。エネルギーももっと自然を活かしたものが増えればよいと思う。
33	自動運転が定着する前に 65 歳以上の免許。
34	現代では毎日大量のエネルギーを消費し、多くのゴミを排出しているが、それらが将来的に大きな問題とならないように環境問題とあわせて考えると良いと思う。
35	戸建て住宅は、マンションや団地と比べてつながりがうすいので、地域間での防災をもっと意識できるようになりたい。
36	かつての江戸の知識も生かして、「もったいない」精神を忘れない都市になってほしい。
37	「路地の雰囲気を生かした」と書いてあるが、写真からはそういったものを排除したような印象を受ける。実際にそれらを生かした東京ができるのか。
38	遠隔医療や自動運転技術など、人の手で行わない技術は危険だと思う。
39	電線を地下に埋めた場合、災害時にどうなるのか。
40	防災対策は優先的に進めていくべきというのは、大変共感できます。最新技術をどんどん活用して、安全な社会になってほしいです。
41	練馬の住宅密集地帯に住んでいて、災害が不安です。人口の分散も目指していただきたいです。

番号	意見・アイデア
42	遠隔医療・自動運転技術は危険性があると思う。 電柱については、場所の問題もあって難しいのでは？と思った。
43	無電柱化は、特にがんばってもらいたい。
44	電柱・電線をもはやなくしてしまい、電波をとばす。
45	水素エネルギーの活用は、ぜひ早いうちにしてほしい。
46	災害リスクに立ち向かうには地域のコミュニティの形成が不可欠。若者やアパート入居者の町内会への不参加などが増える中、どのように対処するかが問題。
47	無電柱化と共に細い道を雨水がたまらない道にかえてほしい。
48	無電柱化によってかかるコスト（安くない？）→新たな電気幹線をどうするか。
49	電気に関しては、地中にうめると今後もコストがかかり続けていくが、無線化の開発支援等はどうなのか。
50	都など大きなまとまりでこの問題を解決するのは良いと思う。しかし、燃料電池バスへ変えた後のバスの排気や地熱風力発電所をつくる費用や環境問題はどうか。
51	防災に関して、一次災害はなるべく想定して備えることは大事であるが、地震自体を防ぐことができないので、二次災害が起きないように、防災訓練など含め、つくっていききたい。
52	電柱や電線を地上から無くし、地下に移動した後のメンテナンス面での問題がどうしても無くならない。技術の進歩に頼るといいが、無理だった場合のこともちゃんと考えないといけない。水素エネルギー、地熱・風力発電などは最重要だと考える。
53	<ul style="list-style-type: none"> ・首都直下地震が予想されているので、この戦略は一早く動くべきだと思います。既にある建物への対処も重要であると思います。 ・土地が無い中で移転先の確保をどうするのか。
54	地震大国の日本がずっと向き合っていく災害リスクについては最も力を入れていくべき。

番号	意見・アイデア
55	自動運転技術が発達しても無人化には至らないと思うので、人件費の削減は考えてほしいと思う。
56	戦略1でさらに区部中心部に企業が集中すると、災害時に東京都が長時間機能しなくなるので、中心部の企業と連携して大規模な防災訓練をすると良いと思います。
57	無電柱化にはたくさんお金と時間がかかるとは思いますが、ぜひ実現して欲しいです。
58	自然災害の多い日本では、被害を減らす工夫をすることはとても重要だと思う。
59	首都直下型地震などに備え早くやるべき。
60	自動運転を推すのは良い事だと思うけど、デメリットをあまり聞かないので、メリットとデメリット、その対策とかも知りたい。
61	災害に強い街づくりは非常に大切なものだと思います。これは優先的に施行していただきたいです。
62	首都直下型地震が30年以内に起こる可能性が高いことなどから、とても重要だと思います。
63	災害に備える事は、最も優先されるべき課題であると思うが、完全に被害を防ぐというのは難しいと思うので、いかにして被害を少なくするかを計画すべきだと思う。
64	島などで災害がおきたとき、どのような対応をするのかを具体的に考える必要があるのでは。
65	防災訓練を地域ですらに行っていくといいと思う。
66	木造建築物、特に寺院等は、文化的価値が大きいので、保全方法などを考えていく必要があると思います。
67	戦略1の“歴史的な建造物”の個性をつぶしてしまうのではないかと。燃えないとなると木造でなくなるので、すると日本の伝統的な木の風合いがなくなってしまうそう。すべての人が平等に暮らせるような東京にしてほしいです。
68	23年もあれば建て替えもあるだろうから、その都度の問題かと。

番号	意見・アイデア
69	燃料電池バスがコストがすごくかかりそうで、どうなのかなと思いました。
70	路地の雰囲気とは何か。都心部の裏路地のようなものは、増えても良いと思わない。電柱や電線がなくても、高層ビルあったら青空が見えないのでは？
71	経済面においてきびしい仮定は建て直し・居住地の移動は難しいような気がする。島しょ部はおいといて、多摩部にも機能を均衡化するつもりなら、奥多摩には医師を置くべき。
72	奥多摩、島しょ地域が、災害にあった際、警察、国、地域の手助けがしやすい環境整備をしてほしい。また、住民参加型訓練の必要性も同時に訴えてほしい。
73	公園のベンチに防災用品が備えられているアイデアはすごいと思いました。この様なものをもっと増やすべきだと思います。
74	エネルギー問題に対して水素を使うという対策は良いが、使うなら、水素の取扱いを含めて、安全性や安心できるような状態にしてほしい。
75	災害リスク・環境問題は人にとっても危険を及ぼすものなので、早い対応が必要。
76	地震の多い日本では災害への対策は必要であるがその中でも高齢者に視点を向けた対策が大切だと思う。
77	何よりも大事。環境問題に対する計算が甘い気がする。（例：豊洲、小金井のビル風）
78	高齢化が進む中、建物は設備がしっかりとしていれば、2次災害の火災などの阻止につながるのではないかと思う。
79	社会の高齢化やグローバル化が進んでいる中で、災害時に多くの人が助かるような都市の構築というのは最優先にすべきことだと考えたから。
80	電線を地中に埋めた場合のデメリット。
81	想定されている首都直下地震のような大災害が起きたとき、日本中心である東京の都市機能を保つ必要がある。
82	科学技術と安全のバランスをしっかりと考えてもらいたい。

番号	意見・アイデア
83	災害対策は何よりもすべき対策の一つだと思います。
84	住居が密集した地域などの整備が重要だと思う。どのように整備していくのかが気になる。
85	災害問題は今良く考えるべき。2020年のオリンピックでのテロ、自身も踏まえて今考えるべきだろう。
86	外国人が旅行などでたくさん来る中で、災害へのマネジメントが必要。
87	災害等で機能停止した場合、東京に多くの企業が集まっているので、それが使えなくなったときのフォローはどうなるのか。
88	日本は地震が多い。災害時にどう動いたらいいかの災害時マニュアルを配るだけでなく、電車の電子掲示板などに知識を流せば人の目に留まる。 電線を地下に埋めたときのリスク。
89	戦争も想定すべきだと思う。核シェルターも考えてほしい。
90	第一に安全を。
91	今現在地震が起こったら、東京、さらには日本はどうなってしまうのか。早急に改善すべき。オリンピックよりこっちのが大事でしょ。
92	CO ₂ フリーの都市開発は、都だけでなく、日本全体で考えていくべき。燃料電池バス、素敵です。
93	地震とかはいつ起こるかわからないし、命にかかわることだから優先すべきだと思う。
94	将来へ残していくために、安全に安心してくらすためには最重要。
95	1度つくったものが壊れてしまっは意味がないので、”守ること”にも力を入れてほしいです。

番号	意見・アイデア
96	燃えないのは大事だと思う。火事や地震でたおれてしまうと建て直しとかにもものすごくお金がかかってしまうのはもったいないと思ったので、最低限におさまるのは良いと思った。
97	電柱を土に埋める！?? 高い建物は倒れるのが心配だからリスクが低くなるのは嬉しい。 もっと災害や環境について考えを深めたい。
98	都市部はビルばかりでも良いと思うが、区外や伝統的な建物などがある街並みは、残しつつも災害リスクがないようにしてほしい。
99	水素エネルギーが発達するのは、地球温暖化が軽減できる。東京はビルが多いから電線がなくなることで少し青空が見えるし、きれいに見える。新しい建物には倒れない機能をつけてられるけど、古いものにもつけられるようになると良い。
100	無電柱化すごく良い事だと思いました。東日本大震災の時には地元の電柱がぐらぐらして危なそうなので…。
101	街にゴミ箱を置く。 災害にあったときの対応。
102	自分大田区に住んでいるので町がとても集団しているので改善されるのを期待しています。
103	震災の時、電柱の存在がとても怖いので、安心できる街になったらいいと思います。
104	無電柱化は、危なくないし、動物たちが感電もしなくてとてもよい。燃料電池バスが本当にできたら自然にもよいと思うから、実現してほしい。集合住宅とかを減らすのがよい。
105	バリアフリー。
106	無電柱化や水素エネルギーを活用し、燃料電池バスの考えが地球にも優しくエコで素敵だと思いました。危険でなくなることは分っているのですが、少し電線に鳥などがとまっているのが見れなくなるのは寂しいです。
107	信号待ちをなくせるか。

番号	意見・アイデア
108	首都で大きな地震が起きた時どうすればいいか。
109	首都直下型地震、今のままで40才まで生きられるか？と考えると重要度が高いと思う。
110	最先端のエネルギーを使ってほしいです。
111	今の日本の技術では様々な建て物が崩れてしまうので、燃えない、倒れない町は大事だと思った。
112	これに関してはないです。
113	地震大国の日本なので重要かと思った。
114	将来自分に合ったライフスタイルが選べて良いと思ったからです。
115	日本は地震などが多いので災害リスクと環境問題をしっかりしなきゃいけないから。
116	都市直下の地震が起こると言われているので倒れない街は良い。
117	電柱を地下に埋めるのとても良いと思います。写真など撮る時に電線が写ってしまうので。
118	自然エネルギーを生かした環境に優しい街。電柱、電線を地下に埋める。
119	危険なまま、最新を使うのではなく、少しずつ町を改善して行って、安全第一の発展が良い。
120	5の利便性のための地上の建物の耐久性や道幅の間隔などの調整を細かくしていく必要があるかもしれない。
121	災害が多いのに、災害に対応できていない国だと思うから。

番号	意見・アイデア
122	無電柱化は、災害時の非難の邪魔。
123	これから起こると言われている首都直下型地震に備えた対策が必要。
124	首都直下型地震のことなどを考えると大事だなと思った。
125	首都直下まで時間がないし、最優先。
126	環境問題と向きあえる街にしたい。
127	地震などが特に多い日本では優先的にこういった災害について考えていくことが必要だと思う。
128	古くなった建物などの安全を定期的を確認する。日本は災害が多いので良いと思う。
129	断熱材、リサイクルできるのがあるみたいですね。それを使っていくのはどうですか？区はもっと分別してゴミを捨てた方が良いです。
130	災害が東京で起こると、多くの人がパニックになる・・・みたいなニュースを見たことがあるのでとても大切だと思った。 災害に強い東京に！
131	良いものをよりよくしていくのも大事だけど、リスクの大きい順に対処していくほうが大事だと思う。
132	最も重要度が高いと思う。都市づくりの基本と考えます。
133	交通も集中しているから人も集まる→災害時パニックになりやすい。大事！！
134	町の便利さや自然よりも、まず災害対策や環境問題を一番に考えるべきだと思う。
135	今後大地震が懸念される中で、人々の安心を得るためにも1番大事だと思う。

番号	意見・アイデア
136	人々の命を守るのは、とっても大事!!でも、それを作る場所は?? 例えば、水素を使うものは水素ステーションが必要だと思う。だから、その場所か??
137	この地球上で何よりも大切なのは人命であるため、人々を危険にさらさないような町づくりは重要だと思いました。
138	道路を大きく!
139	日本は地震が多く、大変なので大切だと思う。
140	命が一番大事だから、最優先に進めた方が良いと思う。
141	東京は大地震が発生した際に、火事が一番の不安要素だということから、火事は人の手でいくらでも対応できると思うので、東京の被害を最小限に抑えることが必要だと思う。
142	緊急用の道路をつくったらよい。
143	手話ができる人を増やしてほしい。そして、災害が起きた時に手話ができる人に、分かるように目印を付けてほしい。
144	都内では高層ビルばかりなので、気分をリフレッシュできるように緑色をさりげなく街に取り込めるとよい。緑をもっと増やした方が、温暖化対策もなる。
145	視覚障害者にとって優しいし、地震のときも被害の確率を下げるので、無電柱化を進めるとよい。
146	道を広げたり、家と家の間隔を空けたりして、緊急車両が通るための道を確保するとともに、歩行者も使いやすい道路にすればよい。
147	木にLEDランプをつけると夜道が綺麗になり、安全に歩ける。
148	あらゆる災害にも耐えられる大規模なマンションをつくる。その際、役所、ショッピングモール、ジムなど生活に欠かせない施設をうまく複合するとよい。
149	夜でも周りが、はっきり見えるくらい明るい電灯がほしい。

番号	意見・アイデア
150	地震が起きても潰れない、流されない建物を作ってほしい。
151	フロンガス以外の、高性能の冷媒を研究してほしい。
152	津波が来たら壁が出てきて、人々を守ってくれるような技術を開発してほしい。
153	空間移動できる装置を開発してほしい。
154	AEDと同じように、防災ヘルメットを置いてほしい。
155	歩きタバコをなくすために、喫煙所を増やす。
156	大きな音が出る小さなホイッスルを、ヘルプマークのように身に付けるようにするとよい。
157	犯罪防止や災害対策のため、防犯ブザーや小さなライトなどを持ち歩くようにするとよい。
158	消火水栓を増設するとよい。
159	道が狭いので救急車両が通れるように専用道路を作る。
160	地下の家を作る。